

## 神奈川大学「本の架け橋プロジェクト」御中

この度は英語学習用の絵本を提供してくださり、本当にありがとうございます。

私は村落開発普及員としてお米の振興をしていると申します。以前から孤児にとっても興味があった私は、稲作の仕事がない乾季の去年1月にクミ県にある孤児院を初めて訪問しました。

ほんの26年前に内戦があり、多くの大人達が犠牲となりました。そして残ったのがここにいる孤児達です。一部の孤児は学校に通っているもの、学校の先生の教育が十分でなく、英語が話せない子供が多くいます。また内戦のショックで未だ傷が癒えずにいて、中には言葉の発し方を忘れてしまった子供もいます。直接は聞けないことでしたが、きっと子供達の前で彼らの親が殺されたのでしょう。この内戦が貧困と孤児という大きな外傷を残したため、オーストラリアの支援が入り作られたのが孤児院です。

こういった精神障害の子供も多くいる孤児院にとっても興味がわき、ただただ「助けて、何か私ができることがあれば助けて」という気持ちになりました。そしてすでに使い古した靴下を再利用して作ったサルの人形がありました。しかし売り先がなく、ここで私の出番だ！と思ったのです。マーケット開拓をし、今では首都・カンパラの有名レストランやクミで一番の高級ホテルに置くことができ、それらの資金は孤児達の蚊帳（ウガンダではマラリヤがあります）を購入、また毛布を提供することができました。毛布や蚊帳の提供ができて、ウガンダには十分な英語教育の教材がない為購入できません。また孤児というだけで学校に通えない子供達も多く、英語が話せないウガンダでは将来働くことができません。

そこで私は孤児院のマネージャーに「世界の笑顔のためにプロジェクトを通し、英語学習用の絵本を提供するようしたらどうか」と話を持ちかけました。もちろん子供の将来を一番心配しているマネージャーは「やろう、やろう！！」と同意してくれ、このように申請依頼となりました。


孤児は現在合計33名、狭い部屋には約6名ずつの孤児が一部屋に住んでいます。しかし孤児の数は後を絶ちません。避妊道具が流通していないウガンダでは、若い時に妊娠をし、子供を捨てる親が多く、現在も増え続けています。マネージャー曰く、ここにいる孤児33名はこういった施設に住むことができ、ラッキーだと言います。

学校に通えない孤児は日常、水汲みや農作業、掃除など家事のお手伝いをしています。よってまったく英語に触れることなく今まで育ってきました。彼ら全員に会える日曜日（学校も休みでキリスト教徒の彼らは午前中教会へ行くため）の午後、


マネージャーと一緒に絵本を渡しました。初めて見る絵本にびっくりしたのか、最初は受け取ってもじっと見つめるだけでしたが、中を開けて一枚一枚丁寧にめくって、絵を指しながらゆっくり読んでいました。彼らはカラフルな絵を今まで見たことがないのでその色の多さにもびっくりしていました。そして私に「エヤラマノイ！（現地語で本当にありがたいの意味）」と言って、1人ずつ握手をしにきてくれました。これらの絵本は孤児の家（全6棟）に一冊ずつ置かせていただきました。

時々私が訪問にいくと、輪になって指を指して、一文字ずつ読んでいました。「毎日読んで家事が後回しになるほどよ」と孤児のママ達（孤児のお世話をする世話人さん）は言います。

未だ学校に通えない孤児達は多くいますが、これらの絵本を通し、少しでも彼らの英語力の向上に役立つことを願っています。今後は棟ごとのリーダーを中心に、本が破れてしまっていないか、しっかりそろっているのか数えて管理するようになりました。

本を受け取った孤児達、孤児院のマネージャー・、お世話人のママ達、そして私から感謝の気持ちを伝えたくお便りしました。

こんな素敵絵本を提供して下さい、本当に、本当にありがとうございました！！

青年海外協力隊 24年度2次隊 



24<sup>th</sup>, January 2014

Dear Kanagawa University HON NO KAKEHASHI project

My name is [redacted] a manager of our orphanage called COHAD. Thank you for wonderful picture books. We members of COHAD are very glad to receive these books.

Most of the orphans whose parents were killed in front of them still have mental disorder. I have seen a lot of orphans who lost their parents. Some of them cannot speak anything because of mental disorder. I decided to take care of those children instead of their parents.

However, here Uganda, people are poor. Furthermore, teachers are not good at teaching so it is very difficult for children to learn English well. In addition to that, some children stop going to school because their parents cannot pay school fees or they fail to get promotion at the end of a year.

That's why my sister [redacted] suggested me that I should apply to get books which are good for learning English. We are happy to get this opportunity.

Our children have never seen such a colorful book before. Now they are very happy. When they are free, they always read these books. We are also glad that we can see children in upper class teach English and Japanese to children in lower class.

We shall use them properly inside of our orphanage and try to keep them well. Thanks to the books you sent us, I hope they be able to speak English well in the future.

I thank your kindness from the bottom of my heart.

Thanks a lot.

God bless you.

Manager [redacted]

神奈川大学「本の架け橋プロジェクト」御中

私の名前は■■■■■■■■■■といい、COHADという孤児院のマネージャーです。すばらしい絵本をありがとうございました。これらの絵本を受け取ることができ、COHAD職員一同、とても幸せに思います。

親を目の前で殺された孤児のほとんどは未だに精神障害を持っています。私はこれまで親がいない孤児を数多く見てきました。何人かの子ども達は精神障害のため、言葉すら話すことができません。彼らの親代わりになればと思い、私はそういった子ども達の面倒を見ていくことに決めました。

しかし、ここウガンダでは、人々の生活は貧しく、学校教員の教え方も上手くありません。そのため、子ども達が適切な英語を学習していくことは非常に難しいのです。適切な英語学習が難しいだけでなく、両親が授業料を払えなかったり、年度末の進級試験に落第してしまったがために、学校を中退する児童も中にはいるのが現状です。

そこで■■■■■■■■■■（以下ボランティア）は英語学習用の本をもらえるよう、申請したらどうかと提案してくれました。私達はこのような機会が得られたことを幸せに思います。

孤児院 COHAD の子ども達はこのような色とりどりの絵本をみたことがありませんでした。今では、彼らは本当に幸せです。

彼らは空き時間ができたときには、いつもこの絵本を読んでいます。我々スタッフとしても嬉しいことがあり、高学年の子どもが低学年の子どもにこの絵本を使って英語、そして日本語も教えているところをみることもできました。

これらの本は孤児院の中で大事に扱い、大切に保管するよう努めます。神奈川大学「本の架け橋プロジェクト」の皆様方からいただいたこの本を読むことで、子ども達が将来英語を上手に話せるようになることを願っています。

皆様の優しさに心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

あなた方に神のご加護がありますように、お祈り致します。

